

## アジア研究教育ユニット（世界展開力・特別経費）平成 28 年度教育研究報告書

<b>事業課題名</b>	学生・院生および引率教員の海外派遣/ドイツ派遣
<b>代表者名</b>	徳丸夏歌（経済学研究科）
<b>事業概要 (600 字程度)</b>	<p>京都大学経済学部／大学院経済学研究科とゲーテ大学経済学部／大学院経済学研究科、京都大学経済学部・文学部／大学院経済学研究科・大学院文学研究科とハイデルベルグ大学アジア・ヨーロッパクラスターとの部局間交流協定に基づき、ドイツ学生派遣プログラムを実施した。ゲーテ大学教員による講義に参加し、ハイデルベルグ大学との共同学生セミナーを実施、京都大学ハイデルベルグオフィスを訪問するなどして、協定校と京都大学との交流を深めた。加えて、ヘッセン州経済・エネルギー・交通・地域開発省、ドイツ金属労働組合 IGMetall、IGMetall 所属移民支援センター、横浜市フランクフルト事務所、環境系 NGO、Fraport（フランクフルト空港管理運営企業）、フランクフルト市経済振興事務所、職業女性 NGO、国連ドイツ本部、ビッグデータ企業、連邦カルテル局（公正取引委員会）、環境系企業等への訪問・見学・インタビュー調査を行った。本派遣プログラムにより、参加者はドイツにおける民間-行政レベルの協同的な経済政策、環境、産業、労働、移民問題への取り組みの現状に関する知見を深めた。教員 1 名、研究員 1 名、経済学研究科の東アジアコース学生 3 名、経営管理大学院の大学院生 1 名、経済学部の学生 3 名の合計 7 名が参加した。</p>
<b>成果の概要 (800 字程度)</b>	<p>2016 年 9 月末に参加者を決定し、10 月、11 月の二ヵ月間毎週参加者ミーティングを実施し、訪問先の検討、アポイントメント交渉や質問票作成、学生セミナーの予行演習等を行なった。派遣は 2016 年 11 月 26 日～12 月 5 日までの 10 日間実施し、経済学研究科の大学院生 4 名、経済学部の学部生 3 名が本プログラムに参加した。</p> <p>フランクフルト・ゲーテ大学では二つの講義に参加し、同校教員や学生と移民問題や国際機関について活発に議論を行ない、ドイツの大学の講義について知ることができた。</p> <p>加えてフランクフルトでは、世界最大規模の労働組合である IGMetall へのインタビューを実施した後、IGMetall 所属の移民支援センターを訪問し、労働組合とドイツの移民問題についての見識を深めることができた。またフランクフルト経済振興局、横浜市フランクフルトオフィスを訪問・インタビューし、独日の地方自治体レベルでの企業支援等の経済振興策について理解を深めた。また環境系 NGO、職業女性 NGO の会員と交流、質疑応答の機会を持ち、環境やジェンダー問題への民間レベルでの取組について理解を深めた。</p> <p>旧首都であるボンを訪問し、国連事務局ドイツ本部にて講義を受けた後に質疑応答を行い、国連の持続的発展問題について理解を深めた。またボンでは連邦カルテル局（公正取引委員会）において同局の概要説明を受けたのち質疑応答を行い、ドイツ社会主義経済の市場取引規制についての見識を広げた。加えてヘッセン州の経済産業省を訪問し、持続可能エネルギー政策についてインタビュー調査を行なった。</p> <p>ハイデルベルグ大学との学生共同セミナーでは、京大及びハイデルベルグ大学の学生 10 名余が研究発表を行い、質疑応答では活発な議論が繰り広げられた。</p> <p>本派遣を通じて協定校との交流を深めることができ、またドイツ社会市場経済や移民問題、地方自治体の経済振興策、環境問題、ジェンダー問題などについて、現場調査に基づく深い理解を得ることができた。また学生は質問票作成やアポイント交渉、研究発表や質疑応答等を主体的に実施し、実践的な語学力と調査力、国際的コミュニケーション力を身につけることができ、本派遣はグローバル人材の育成に大きく貢献したと言えよう。</p>